

## アサヒパックス株式会社



スリッター機の導入により、自社一貫体制を強化し品質と生産性を向上

自社一貫体制の  
構築による、  
生産性の効率化と  
品質の向上



充実した機械設備

## DATA：あさひぱくす



代表取締役：田中 真人

設立年月日：昭和43年10月  
住 所：〒462-0016 名古屋市中区西味鏡5-210  
電 話：052-901-2727  
F A X：052-901-3729  
E - M a i l：asahi-p@royal.ocn.ne.jp  
資 本 金：1,500万円  
業 種：グラビア印刷  
従 業 員 数：14人

## 自社一貫体制によるパッケージ印刷

アサヒパックス株式会社は、お菓子を中心とした食品パッケージのグラビア印刷を手掛けている。大手スーパーのプライベートブランドで使われる野菜のパッケージ、空港や観光地で扱われている菓子土産などのパッケージを印刷している。グラビア印刷機での印刷からラミネート機によるフィルム貼り合わせ、検品といった工程に加え、2015年に導入したスリッター機によって裁断までの後工程も全て自社で一貫して対応することができるようになった。一貫体制の構築は品質面やコスト、収益性の向上に大きく寄与している。

## ラミネート機の導入が一貫体制構築のきっかけに

同社は設立当初はパッケージ印刷の

みを実施していたが、2011年3月の東日本大震災により関東地方におけるラミネート加工業者の事業活動が停滞したことで、自社によるラミネート加工への対応が求められた。この際にラミネート機を導入したことが自社一貫体制に着手するきっかけとなった。外注に出さずに自社の担当領域が増えたことで、顧客の要望に柔軟に対応することができるようになり、納期の短縮やコストの削減に繋がった。また、責任の所在の明確化に伴いより迅速な対応が図られるようになり、品質の向上に結び付いた。

一貫体制による効果を実感し、ラミネート機の次に導入を考えたのはスリッター機である。従来まで外注に出していた切断作業を内製化することで運搬を含めて納期の更なる短縮が可能であるほか、品質の向上や不良品率の低下が期待された。

## スリッター機導入による一貫体制強化

「平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金」を活用し、東伸製の高速スリッターを導入した。このスリッターを選んだのは検品機が東伸製のものであり相互性と実績があるほか、アフターフォローが迅速であるためである。また、この高速スリッターはパナソニック製のレーザーをカスタマイズしたオンリーワンの設備であり、同社が有する強み・技術を組み合わせ、オリジナルの設備を完成させることができた。

## 顧客ニーズへの柔軟な対応によって、更なる成長を図る

食品パッケージの印刷に対する信頼はその食品への信頼にも繋がるが、この設備の導入により不良品率の低下及

び品質管理の徹底が図られたほか、一貫体制の構築によって運搬する手間を削減でき納期の短縮が可能となった。加えて社外に製造の一部を移管しないため、製造過程における改善点も明確化できるようになったことで安定供給にも繋がった。品質の向上が同社に与えるメリットは大きく、より多様な要望にも柔軟に対応することができるようになった。

更に高精度カット加工が実現し、生野菜等を長期保存する高機能フィルムの加工に対応することが可能になったことで、既存顧客へのシェア拡大、新規顧客の開拓を進めている。今後は、光熱費削減による環境負荷の軽減や廃棄ロスの削減への取り組み等、業界内外の動向を見ながら、食品関係に限らず他業種にも進出し、多様化・高度化する容器・包装へのニーズに応え、更なる受注の獲得に努めていく考えである。



現場での風景